

くすのき小学校だより

四條畷市立くすのき小学校 校長 花岡 純



学校HPの二次元コード



青い空のなか、盛り上がった運動会

- ①みんなで楽しめる
- ②違うクラス、違う学年の人とも力を合わせる
- ③頑張りを認め合える

運動会の開会式で子どもたちに話した目標です。練習のときも、笑顔でダンスをする、違う学年のダンスを見て自然と拍手をする、友だちの頑張りを応援する、係の役割を頑張る、家でできることを練習する、みんなのいいところをたくさんみつけれました。

本番もこの目標で頑張っている姿をたくさんみつけることができました。

- ①にこやかな表情で踊っている、応援で盛り上げるなど、自分もみんなも楽しめるように自ら行動しました。
- ②声を合わせる、波をつくる、音楽に合わせるなど学年や同じ組の人たちと力を合わせました。
- ③負けた組の人たちと「がんばったよね」と声をかける、勝った組に自然と拍手を送るなどお互いの頑張りを認め合っていました。

目標に向けて、一人ひとりがもてる力を出しきった素晴らしい運動会になりました。

運動会の最中に、応援団が自分たちで内陣を組み今日の一日を盛り上げようとしたり、玉入れの数を数えるときに自然と手拍子をしたり、主体的に他者と関わり、目標に向かっている取り組む姿は、学校教育目標にしている、主体的に考えて行動する姿だったように思います。特に、5・6年生が演技、競技、係活動、応援で運動会を盛り上げていこうという気持ちが伝わってきて、胸が熱くなる思いでいっぱいでした。本当に素晴らしかったです。



運動会を見に来られた地域の方からは、集団意識が育ってきている、温かい声かけがある、最後まであきらめずに頑張れる、そんな子どもたちの成長した姿をみつけていただきました。

保護者の皆様も早朝からご来校いただきありがとうございました。たくさんの方の拍手、声援が子どもたちに勇気を持たせてくれたと思います。また、PTA、おやじの会の皆様、来校者の受付、リストバンドの準備、遊具等の片付けなど運動会の運営にご協力いただきありがとうございました。

素敵な標語

「大切なのは、自分がどれだけ本気になれたかだ！」運動会に向けて、素敵な標語が下足室に掲示されています。みんなが楽しめる運動会にしようという目標、「楽しむ」とは。

調べてみると、何かをすることに没頭（1つのことに意識を集中的に向け、他のことを忘れて深く入り込むこと）し、心地よい感情を得る状態、のような意味があります。本気になることで、何かに没頭できる、つまり楽しむということですね。

ふざけて楽しい、茶化して楽しいとはずいぶん意味が違います。運動会で、応援、ダンス、走り、放送、準備等何かに意識を集中して取り組んだ場面が1つでもあればいいなと思います。

それは、運動会だけではありません。日常の学習や生活のなかで、集中して取り組むことの楽しさを見つけてほしいと思います。運動会が終わって、少し落ち着いて学習に向き合える季節になりました。自分の心と向き合い、何に本気になるか考えてほしいですね。



人が安心できる言葉を使って

友だち同士、どんな言葉を使っているかな？日常会話のなかで、知らず知らず、当たり前のように使っている言葉で、「ありがとう」「大丈夫やで」「自分のペースでいいよ」「助かったよ」など人を安心させる言葉があります。そんな言葉を普段から使えるようになったらいいなと思います。

先日、ある会議で、人を傷つけ攻撃するような言葉をSNSやゲームの中から誤って学習して、日常生活で使っている子どもたちがいる話を聞きました。気づいている周りの大人が、どんな言葉を使ったら安心できるのか、身近なモデルとして意識していきたいですね。ご家庭では、どんな言葉を使って会話をしていますか？



体力づくり

学校の重点取組として、
①授業づくり②集団づくり
③体力づくり

をあげています。

そのうちの体力づくりとして、体育の授業で遊具を使ったサーキットトレーニング、朝の学習の時間の体幹トレーニング等に日常から取り組んでいます。

1年生の教室をのぞくと、「できる子は目をつぶって、片足たち（バランス感覚）をやってみて」と先生の声かけに、挑戦している様子がありました。前屈（体の柔軟性）をしたり、机を台につばめ（腕支持感覚）をしたりして、少しの取組を毎日続けて力をつけています。

